

# 九州大学 大型計算機センターニュース

No. 292

1984. 4. 11

福岡市東区箱崎6丁目10番1号  
九州大学大型計算機センター  
広報教育室(TEL092-641-1101)  
内線 2505

## 目 次

1. 核酸塩基配列データベースシステム GENAS のデータの更新について .....	1
2. 5月以降の計算サービスについて .....	2
3. 利用負担金の改正について .....	3
4. 科学研究費による計算機の利用期限について .....	4
5. システムレベルアップと計算サービスの一時停止について .....	4
6. データセット移行計画の延期について .....	5
7. 「計算機科学研究報告」第1号の発行 .....	6

### 1. 核酸塩基配列データベースシステム GENAS のデータの更新について

3月27日にGENAS [ 1 ] のデータベースを、従来のEMBLデータライブラリリリース2.0からリリース3.0に更新しました。塩基配列のエントリ数は670増えて1,481に、総塩基数は540,416増えて1,654,863になりました。

### 参考文献

1. 久原ほか 核酸塩基配列データベースシステム GENAS の使用法(1), 九大大型計算機センター広報, 16, 5, 1983, 497-521.

(データベース室 電(内)2510)

## 2. 5月以降の計算サービスについて

59年5月1日から8月31日までの計算サービス時間は次のとおりです。

なお、5月7日よりオープン出力用に、日本語ラインプリンタ装置をターミナル室に設置しますので、ロータリーテーブルへのクローズLP出力は16時45分で終了します。

業 務 項 目	5月1日～8月31日	備 考
クローズLP出力	(月)～(金) 9:00～16:45 (土) 9:00～12:00	
オープンカードリーダー センター内TSS 出力検索 日本語ラインプリンタ XYプロッタ出力 ハードコピー装置 オープン磁気テープ グラフィックディスプレイ 画像処理装置 紙 テ ー プ O C R フロッピーディスク キーツーフロッピー 画像入力装置 A D 変換処理 オープンパンチ	(月)～(金) 9:00～20:00  (土) 9:00～15:00	毎週月曜日は計算機システムの保守のため12 30分から計算サービス を行います。
センター外TSS R J E ネットワーク	(月)～(金) 9:00～22:00  (土) 9:00～17:00	

備考1. 16時45分以降は無人運転となっていますので、システム障害が発生した場合には計算サービス打ち切りの処置をとらせていただきます。

2. オープン出力用日本語ラインプリンタ装置の使用方法については、おってお知らせします。

(業務掛 電(内) 2518)

### 3. 利用負担金の改正について

昭和59年4月1日から利用負担金規定の一部が改正され下表のようになります。

利用負担金表(昭和59年4月1日)

区 分	負担金の算定基準(新)	負担金の算定基準(旧)	
基本負担金	1件につき 40円 ただし、センター内入出力装置を使用した場合に限る。	左 同	
演算負担金	1件のCPU時間(1秒未満は、1秒に切り上げる)が、 5分までは1秒につき 5円 5分から15分までは、5分を超える部分1秒につき 3円 15分を超える場合は超える部分1秒につき 1円	上半期(4月～9月) 1秒につき 6円(5分まで) 1秒につき 3円(5分を超える部分)  下半期(10月～3月) 1秒につき 6円(20分まで) 1秒につき 3円(20分を超える部分)	
入出力負担金	カード入力 10枚につき	1円	左 同
	カード出力 1枚につき	2円	左 同
	プリンタ出力 1枚につき 100 図形文字パターンにつき	5円 1円	左 同
	XYプロッタ出力 4,000 ステップにつき 10センチメートルにつき	1円 3円	左 同
	ファイルアクセス 50回につき	1円	50回につき 2円
	端末接続 1分につき ただし、センター内端末利用の場合は1分につき	1円 2円	左 同
	ディスク 100キロバイトにつき1月	50円	左 同
マストレージ 100メガバイトにつき1月	2,000円	100メガバイトにつき 4,000円	
ネットワーク利用負担金	会話型処理入出力2行につき 1円 リモートバッチ処理入出力5行につき 1円 ただし、他の大学の大型計算機センターから使用した場合に限る。	左 同	
備考	<p>1. 利用負担金請求額に100円未満の端数が生じた場合は、これを100円に切り上げるものとする。</p> <p>2. 基本負担金に係るセンター内入出力装置は、次のとおりとする。 ラインプリンタ、カードリーダー、カードパンチ、磁気テープ、XYプロッタ、グラフィックディスプレイ装置、ハードコピー装置、フロッピーディスク装置。</p>		

\* 演算負担金の上半期と下半期の区分がなくなります。

(業務掛 (内線) 2518)

#### 4. 科学研究費による計算機の利用期限について

##### 1. 利用期限

- イ. 計算機の利用期限は、毎年2月20日（24：00）迄（日曜日の場合は前日（17：00）迄）とします。
- ロ. サービス終了後の計算結果はすべて強制出力します。
- ハ. 長時間ジョブ（ジョブクラスD・E）の計算依頼については負担金請求作業の都合上、できるだけ利用期限の前日までをお願いします。

##### 2. 共用ファイルの消去

科学研究費の課題番号下にある共用ファイルは3月8日に全て消去しますので、事前に別のファイルにコピーする等の保存処置を行ってください。

##### 3. 経費の支弁

科学研究費による利用負担金は、校費による振替及び納入告知書の分割ができませんので予算の管理に注意してください。

##### 4. 納入告知

例年補助金の交付が8月～9月頃になりますので、9月までの分を一括して10月に納入告知書を送付します。

補助金の交付が10月以降となり、利用負担金の納付ができないときは、その旨本センター会計掛まで必ず文書によりお申し出ください。

#### 5. システムレベルアップと計算サービスの一時停止について

5月2日（水）より、オペレーションシステムを“OS/IV F4 MSP E20”へシステムレベルアップを行います。このレベルアップに伴う移行作業、及び、データセット移行作業のため、次表のとおり計算サービスを一時停止させていただきますのでご了承ください。その主な内容については次のとおりです。

##### ① 5月2日（水）（RACF分割作業）

現在、データセットはすべてRACF[1]によって保護されており、そのエントリ数は4万件を超えています。このため、RACFの検索効率が低下しています。そこで、現在登録されているRACF情報をシステム用、ユーザー用に分割し、データセットオープン時のシステム効率を改善します。

##### ② 5月4日（金）（システムカタログ移行作業）

オペレーションシステムが現在の“OS/IV F4 E40”から“OS/IV F4 MSP E20”へ移行します。これに伴い、システムカタログも現在のVSAMカタログ[2]からEDFカタログ[2]へ移行します。また、通信システムも現在のVTAM-FからVTAM-Gへ移行します。

##### ③ 5月7日（月）

5月7日から通常業務を行います。当日はシステムレベルアップ後の最初のサービスであり、オペレーションシステムや通信システムに障害が発生する恐れがあります。サービス中に重大な

障害が発生した場合に限り、17:00でサービスを打切らせていただきます。そうでない場合には通常どおり22:00までサービスを行います。なお、VTAMGへの移行に伴った通信回線の接続テストを9:00より12:30までの間に行いますので、専用回線経由の端局では接続確認を行ってください。端末が正常に接続できない場合には、ネットワーク室（内線2510・2516）までご連絡ください。

④ 5月26日（土）（データセット移行作業）

6でお知らせしますデータセットの新ディスクへの移行作業を行います。

⑤ 6月16日（土）（データセット移行作業）

④と同様です。

サービス停止の日程

期 日	サービス時間	サービス停止時間	備 考
5月2日（水）	9:00～13:00	13:00以降	RACF分割作業のため
5月4日（金）	停 止	終 日	システムカタログ移行作業のため
5月7日（月）	12:30～22:00		9:00～12:30 は回線接続テスト時間。 12:30～17:00 の間に障害が発生した場合は17:00迄、それ以降は障害発生と同時にサービスを打切らせて戴きます。
5月26日（土）	停 止	終 日	データセット移行作業のため
6月16日（土）	9:00～12:00	12:00以降	データセット移行作業のため

参考文献

1. 計算機マニュアル FACOM OS/IV F4 MSP RACF 運用手引書  
（78SP-2010-1），富士通㈱。
2. 計算機マニュアル FACOM OS/IV F4 MSP VSAM 機能説明書  
（78SP-1190-1），富士通㈱。

6. データセット移行計画の延期について

センターニュース№289でお知らせしました新ディスクへのデータセット移行スケジュールは、ディスクの導入時期延期のため、4月3日（火）からの予定を5月28日（月）からに延期します。また、新旧ボリュームの比較表に誤りがありましたので、併せて訂正いたします。

共同ボリュームの新ディスクへの移行はセンター側で行います。ただし、次表からわかるように、1トラック（または1シリンダ）の容量が異なり、1トラック当りのブロック数（TTRなどのブロックアドレス）を意識しているようなデータセット（特に直接編成のデータセットに多いと思われます）については、センター側で移行すると不都合を生じる場合があります。そこで、このよう

な直接編成データセットについては、5月28日から6月16日までの間に利用者自身によって移行してください。なお、5月28日より新しく生成する保存データセットはすべて“F6425”上に作成されます。

以下に、SAS データセットの移行の例を示します。SAS データセットはセンターで機械的に移行すると後で利用できなくなるデータセットの1例です。

(例)

```

READY
ALLOC F(INDD) DA(SASOLD.DATA) SHR
ALLOC F(OUTDD) DA(SASNEW.DATA) NE CA UNIT(PUB) SP(10 10) TRACK
SAS
1? PROC COPY IN=INDD OUT=OUTDD;
2? RUN;
.
.
3? /*
READY
    
```

新旧共用ボリュームの比較

項目\区分		従来のディスク	新しいディスク
機種名		F496	F6425
記憶容量		317.5 メガバイト/ボリューム	630.2 メガバイト/ボリューム
データ転送速度		1,198 キロバイト/秒	3,000 キロバイト/秒
シリンダ数		555 シリンダ/ボリューム	885 シリンダ/ボリューム
シリンダ当りのトラック数		30 トラック/シリンダ	15 トラック/シリンダ
トラック容量		19,069 バイト/トラック	47,476 バイト/トラック
ブロックの長さ	キーなしブロック	185 + データ長	$480 + \left[ \frac{\text{データ長} + 12}{32} \right] * 1 \times 32$
	キーを持つブロック	267 + キー長 + データ長	$704 + \left[ \frac{\text{キー長} + 12}{32} \right] * 1 \times 32 + \left[ \frac{\text{データ長} + 12}{32} \right] * 1 \times 32$
トラック当りのブロック数(固定長ブロックの場合)		$\left[ \frac{19254}{\text{ブロックの長さ}} \right] * 2$	$\left[ \frac{47968}{\text{ブロックの長さ}} \right] * 2$

\* 1 : 小数点以下は切上げ  
 \* 2 : 小数点以下は切捨て

(業務掛 電(内) 2517)

## 7. 「計算機科学研究報告」第1号の発行

さる2月3日に開催した計算機科学研究集会で発表された論文を計算機科学研究報告第1号として刊行しました。御希望の方は共同利用掛(電話(内線)2505)までお申し出ください。